



インスピレーションになろう

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2018年 10月号



国際ロータリー第2710地区
2018-19年度 ガバナー

吉原 久司

GOVERNOR:
Hisashi Yoshihara

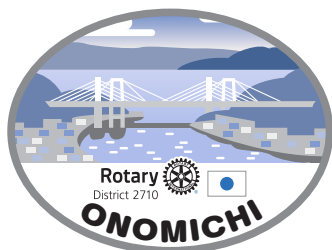
『10月経済と地域社会の発展月間、米山月間』

経済と地域社会と言っても世界と日本とは違う問題がありますし、当地区でも違う問題があるのかもしれませんが。RIの6つの重点分野にも入っているこの課題は、世界に目を向けると1日1ドル25セント未満(138円)で生活する貧困者数は、過去30年間に全世界で大きく減少しています。1981年には発展途上地域の人口の半数以上が貧困者でしたが、2010年にはこの数が21%にまで減少しています。しかし、持続可能な開発目標として現在も世界に以下のような切迫したニーズがあると指摘されています。ある研究によるとナイジェリアでは人材投資(教育や研修など)を1%増やすことで、貧困を66%以上減らすことが出来る。2013年の失業人口は約2億200万人であり、そのうち7450万人は15歳～24歳の若者であった。都市部以外に住む貧困者の70%の主な収入源と仕事は農業である。雇用における男女格差は根強く、2012年の就業率における男女比は24.8ポイントである。ということでRIは①若者の失業率の改善②男女格差の解消③小口金融への積極的なアプローチ④農業・畜産業への支援を中心とした支援を行ってきました。しかし現在も12億人が極度の貧困状態にあります。2030年までに極度の貧困を無くすには貧しい人びとのエンパワメントを図ることが必要とされています。RIが推奨している「Adopt-a-village」(村の自立支援)と呼ばれるプロジェクトは、人間の基本的なニーズが満たされていない地域社会において、包括的な方法で極度の貧困問題に取り組むのです。当地区でもDDFを使ったグローバル補助金事業で「村の自立支援」プロ

ジェクトを取り入れた支援を検討して頂きたいと思います。

さて地区に目を移しますと直前ガバナーの藤中様が指摘された山口県・広島県の後継者不在率の高さです。ロータリアンを中心に後継者の育成に力を注いでいただくことをお願いします。更に既存の職業分類から成長分野であるIT分野・サービス分野・女性の進出が著しい分野への職業分類の拡大なども念頭に置いて取り組んで下さい。

また今月は米山月間でもあります。米山梅吉翁は武士の和田竹造の3男として生まれ静岡県長泉町の米山春子さんと結婚、三井銀行に入行し大正9年に日本最初のロータリークラブ・東京RCを創設して会長に就任。その後、亡くなるまで多くの奉仕活動を行い息子さんは「他人の楽しむのを見ているほど幸せなことはない」という人生の考え方を持っておられた方です。ご承知のように米山奨学会事業は日本に留学する外国人を対象とする点で日本ロータリー独自の制度です。ただ1971年に当時のRI事務総長のジョージ・ミーンズ氏が「日本独特の優れた国際理解活動でありその拡大に一層努めるように」と称賛され実質的にRI公認とみなされています。又独自の世話クラブ・カウンセラー制度を持っており奨学生の精神的な悩みなどへの対応もきめ細かく取り組んでいます。しかし近年寄付額の減少があり奨学生の人数が減少してきており、さらなるご寄付をよろしくお願いします。奨学生は卒業後、各国に帰り米山学友としてそれぞれの国で活躍しており北京米山友愛会、上海米山友愛会などロータリークラブのない国においても活躍をされています。なお今回の西日本豪雨災害に対しモンゴル米山友愛会から義捐金が届いています。持続可能な私たちの活動が終わった後も続くロータリー魂がここにも生きています。



～輝こう ロータリーふたたび～

【目次】

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| ● ガバナーメッセージ……………P1 | ● 指導者育成セミナー報告……………P5 |
| ● 「経済と地域社会の発展」月間によせて……………P2 | ● 地区指導者育成セミナー会員増強部門報告……………P5～6 |
| ● 米山月間によせて……………P2 | ● 地区指導者育成セミナーロータリー財団部門報告……………P6 |
| ● 2018学年度米山奨学生研修旅行報告書……………P3 | ● 会員増減・出席率(8月度) 特別コラム……………P7 |
| ● 第42回インターアクト地区大会報告……………P4 | ● 新入会員紹介 物故者 文庫通信……………P8 |



「経済と地域社会の発展」月間によせて

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会カウンセラー・バストガバナー 沖田 哲義

私の勉強不足かもしれませんが、最近では、「経済と地域社会の発展」といわず、「地域経済の発展」とか「地元経済の成長」といっているように聞いている。この事業は、当初ロータリー財団が採用していた6つの重点分野の内の、6つ目の事業ですが、現在では国際ロータリーも、この6つの重点分野という事業を採用しています。

ちなみに、この6つの重点分野は、当初、

- ① 平和と紛争予防/紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率の向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展

という呼び名でしたが、これが最近では、

- ① 平和の推進
- ② 疾病との闘い
- ③ 水と衛生（従前と同じ）
- ④ 母子の健康（同上）
- ⑤ 教育の支援
- ⑥ 地域経済の発展

という名称に変更されたと聞いているのです。変更されたものの原文は、①Promoting Peace ②Fighting Disease

③Providing Clean Water ④Saving Mothers and Children
⑤Supporting Education ⑥Growing Local Economies ですから、現時点では、変更された後の和訳を使うべきだと思います。

ところで、地域経済の発展という事業は、「生産的で十分な収入をもたらす雇用の機会の創出を通じて人々の自立を促し、発展途上地域の（特に女性による）起業を応援しながら、リーダーとなる人材を育てる」事業だとされています。また、「雇用されているにもかかわらず1日にわずか1ドル90セント（約220円）で暮らしている人の数は、世界で約8億人。ロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動しています。」ともいわれています。そして、この事業の具体例として、ガアテマラ僻地における貧困の連鎖を断ち切るための女性への支援活動（女性たちが共同出資して小口金融プログラムを開始できるための研修）、エクアドルでのスキル開発と経営の研修活動（裁縫、パン焼き、配管等の研修）、及び西カメルーンでの持続可能な農業支援活動（土壌を肥沃にし、土壌浸食を食い止め、農作物を市場に出荷するために必要なスキルの指導等）を挙げています。

そうしますと、この「地域経済の発展」という事業は、あくまでも発展途上国を対象とするものであって、日本の中では当てはまらない事業だと思われます。



米山月間に寄せて 地区米山記念奨学会委員会

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会 カウンセラー 天野 肇

地区内クラブ、会員の皆様には、平素から（公財）ロータリー米山記念奨学会へ強力なご支援を頂き、有難くお礼を申し上げます。本年6月14日の理事会にて2019学年度の採用数を850名に設定を致しました。我が地区への割り当て予定数は22名、継続者予定数5名を引くと新規採用予定者数は17名となります。

2019年1月19日に面接試験を実施の計画です。以上の予定・計画に基づいて8月9日、我が地区では初めての試みですが、西本前委員長の熱意と清水現委員長の尽力の下に地区米山記念奨学事業学校説明会を開催致しました。

暑さ厳しい中、指定校16校の担当者皆様にご出席頂き、清水、西本両氏がロータリー米山記念奨学会の歴史、事業の目的等を詳細に説明し、質疑応答の時間も設け、出席者に理解を深めて頂きました。今回は全指定校に参加（2019年度指定校は21校）をお願いし、より充実した会合を目指したく願っております。

ております。

日本のロータリーは、1920年米山梅吉氏によって開かれました。2020年には100周年を迎えますが、梅吉翁の偉業を称えて始められたロータリー米山記念奨学会は、日本ロータリー100年の歴史に優るとも劣らない歴史と内容を有すると思います。現在世界の政治は、地球の気候と同じように非常に不安定で、時に戦争を予感させる不安で危険な要素を孕んでおります。こんな時代だからこそ米山記念奨学会が目指す「国際親善と平和を希求するアジア地域諸国の人材の育成事業」をより確かなものにしようとする願いとこれまでの実績を、我々日本のロータリアンは誇りに思い、より一層努力を傾注すべきと考える次第です。

いま我が国は世界から見つめられております。米山記念奨学会の事業拡大の絶好の機会が訪れているのではないのでしょうか。



2018学年度米山奨学生研修旅行報告書

山口大学 金 海燕 (世話クラブ:山口南RC)

2018年、私はロータリーとの新たな出会いで、日本という国のもう一つの「顔」を見ることができた。それは「奉仕」という真の意義について改めて考えさせられたからである。私は今年4月から米山記念奨学生となった。感動の気持ちが抑えられないくらい、心の中では毎日感謝の気持ちでいっぱいである。例会をはじめ、いろいろ配慮していただくカウンセラーさんの優しい応援に、ロータリークラブの精神を一つ一つつづつ心で感じ、学び、そしてこの中で一步一步と成長していくことだとしみじみ感じている。

2018年7月26日、27日の島根への旅行は奨学生になって初めてである。私にとって島根はどんな町なのか、何があるのか全然知らない状態だったが、同行のロータリークラブの地区委員長をはじめ、たくさんの方々に歴史、文化、風習などについて教えて頂き、大変勉強になった。特に松江城の城内を登りながら、すべてが木製で、殆ど釘などを使わずに建てられたことに驚異的であまらなかった。さすが「国宝」って感じだった。そして、汗ながら頂上に上がり涼しい風に吹かれて遠く見える美しい街の景色を眺めながら、思わず「平和でよかった」と感心した。これからもずっと平和へと友好へと進めるように祈った。

研修当日の26日の夜の宴会も私にとっては特別であった。もちろん

おいしい料理も誘惑だったが、それより前委員長からのお話に惹かれていろいろと考えさせられた。「この奨学金はなぜ日本人学生ではなく、外国人留学生にだけ月十数万のお金を支給しているのか。」私みたいにこの問題について考えたことのない留学生がきっと少なくないと思う。なぜだろうか。自分なりの理解では、もっと国際友好、平和そして人道主義精神の発揚に貢献したいというロータリークラブのグローバルな精神にあると思った。これはただのスローガンではなく、実現を図ってロータリーは着実な歩みでこの道を歩んでいる。これはまた我々奨学生の一生の使命になると思った。

研修旅行でいろいろを体験させていただき、ありがとうございました。



写真のテーマ: いい体験いい勉強



2018学年度米山奨学生研修旅行報告書

広島大学 付 宇倩 (世話クラブ:呉RC)

2018年7月26日から27日まで研修旅行として国際ロータリークラブ2710地区の米山奨学生と一緒に島根に行ってきました。地区委員の4人と米山奨学生の21人と一泊二日を楽しみ過ごしてきました。島根県出雲市にある出雲大社に連れて行っていただきました。縁結びの神・福の神として名高い出雲大社は、日本最古の歴史書といわれる「古事記」にその創建が記されているほどの古社で、明治時代初期まで杵築大社と呼ばれていました。一般的には、神社の拝礼は「二拝、二拍手、一拝」ですが、出雲大社は「二拝、四拍手、一拝」と、独特の拝礼で行います。大変印象に残りました。また、堀川めぐり遊覧船で観光をさせていただきました。遊覧船の上から見える松江市の町並みは、誰もが忘れかけた懐かしい日本の風景を思い起こさせ、川面を渡る風は時間を忘れさせてくれました。さらに、和菓子作り体験をさせていただいて、はじめて自分で作るということですので緊張しましたが、みんなと一緒に楽しく「きんとん」と「練りきり」を作ることが出来ました。四季がある日本ならではの和菓子の魅力を再発見しました。

今回の観光に行くこと



により、日本の歴史への知識が勉強になったり、日本の伝統的な文化を感じられたり、とりわけ、国際交流関係の精神が高まったりするようになったという素晴らしい体験だと思いました。他の奨学生との交流も深まりました。今回の奨学生は、中国、韓国、ベトナム、カンボジア、モンゴル、カザフスタン、パングラデシュなどいろいろな国からの留学生が集まって、二日間自分の母国のこと、日本での留学生生活、将来の展望などについて交流しました。ロータリークラブはそのような貴重な多文化コミュニケーションの機会を与えていただき、心から感謝しております。ありがとうございます。

出雲大社を参拝するのは「神社と人とのご縁をつなぐ」ことが出来るようになっていて、今回の研修旅行では「人と人とのご縁をつなぐ」ことも出来ました。





第42回インターアクト地区大会報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 インターアクト委員長 村上 博志

大会テーマ：「Let's find 地元愛 平和と支え合いの心」

開催日：2018年7月28日（土） 場所：広島サンプラザ

ホストクラブ：修道中学校高等学校インターアクトクラブ

提唱クラブ：広島南ロータリークラブ

当初7月28日（土）・29日（日）の2日開催予定の地区大会でしたが、先般の西日本豪雨災害と台風12号の接近による危険回避の為、7月28日（土）1日にのみの開催という短縮日程になりました。

■ 13:00 ~

開会式が行われ、吉原ガバナールより「共に奉仕を通じて学び合い、友情の輪を駆け未来に向かって大きく羽ばたいて頂きたい」と力強い挨拶がありました。



■ 13:40 ~ 14:40

講演1「庶民食の深層一食文化としての好み焼を考える」

講師：広島市立大学特任教授 國本善平氏

好み焼店は全国1位が大阪で1500店、2位広島で900店、3位神戸で800店。しかし、人口比率で広島が1位である。一銭洋食として被爆後の広島に好み焼は広がった。

関西はまぜこみタイプに対し、広島風は重ね焼タイプ、サンドイッチのように重層構造が特徴である。好み焼店は語らい、安らげる空間、そして地域のコミュニティとして大切な空間であるとおっしゃっていました。

アジアの国々（韓国・中国・ベトナム・タイ・スリランカ・インドネシア等）で好み焼に似た食べ物が多く見られる。これらの国々はお米や野菜をよく食べる国でもある。1日2000キロカロリー以下で暮らす国々に共通するそうで、好み焼は500キロカロリーで安い・美味しい・健康的な食品。好み焼は地球を救うと熱く語られていました。

講演2「地域再発見マツダスタジアムの魅力とその工夫」

講師：マツダスタジアム物語 語り部 日高 洋氏

プロ野球広島カープの現在の本拠地「マツダスタジアム」は2009年旧国鉄貨物ヤード跡地5ヘクタールに総事業費145億円をかけて建設された。しかし、完成までには紆余曲折があり2003年には民間から出された計画が白紙になったり、2004年にはプロ野球球団の再編議論が巻き起こりカープがなくなるのではないかと危機感から新球場建設の機運が盛り上がり、市民・ファン・球団・経済界・行政が一体となった取り組みになった。カープ球団は1980年代からアメリカヘボールパークの視察に行っていたが、日高氏は自分の目で見て肌で感じる為に広島市の職員ではあるが自費で有給休暇を取って大リーグの球場4施設の視察に行った。手にはメジャーとカメラを持ち、シートの幅、通路の広さ等克明に記録して回った。

その結果新球場のコンセプトとして

①地域の活性化につながる事

②野球に興味のある人もない人も世代を超えて気軽に訪れ交流できる

広場のような球場

を掲げた。

コンコースは12mの広いスペース、シート幅50cmとゆったり観戦でき、客席も寝そべれる席、バーベキュー席、砂かぶり席、パーティー席等を配置してより観客に楽しんでもらえる工夫を凝らした。球団の経営努力もあり観客動員数は2006年の90万人から2016年には2倍以上の213万人に増え、女性の観客が半分を占め、子供からお年寄りまで3世代が集える球場になり、JR広島駅周辺の再開発にはずみがつき、まちづくりへの波及効果も生まれた。

高校生たちに伝えたい事は、

①夢を持つ事（小さな事でもよい）

②五感で感じる事（体験は財産）

■ 16:00 ~

グループワーク（研修のまとめ）が始まり、15校から集まった104名の生徒が15テーブルに分かれ、各々のテーブルで本日の講演「好み焼」と「マツダスタジアム」に関しての感想を発表しました。また、「あなた自身の地元」について考え、地元の魅力についてお互いの町の素晴らしさを発表しました。ここでは初めて出会う他校生との交流が目的でもあり、人前で自分の意見を伝える事の難しさを学びました。

■ 17:00 ~

全員での記念撮影



■ 17:50 ~

夕食、生徒交歓会、RC顧問教師交流会と続き、19:30には解散し、宿泊組と帰路につく人に分かれ、一日のスケジュールは無事終了しました。

短縮スケジュールで生徒達が楽しみにしていたマツダスタジアムの見学が中止になった事が残念でしたが、とても充実したインターアクト地区大会になりました。

開催にご尽力くださったホストクラブの修道中学校高等学校インターアクトクラブの皆様、提唱クラブの広島南ロータリークラブの皆様、顧問教師の皆様、関係各位に衷心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。





指導者育成セミナー報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 安保 雅文

残暑厳しい中、8月26日(日)13時よりホテルグランヴィア広島において、2018-19年度地区指導者育成セミナーが、会員増強部門166名、ロータリー財団部門78名の参加のもと開催されました。ちなみに国際ロータリーからの要請による地区指導者育成セミナーは、本年度をもって終了します。今回が最後の指導者育成セミナーとなりました。

会員増強部門では吉原ガバナーの開会の挨拶に始まり、第2780地区大谷新一郎直前ガバナーより「会員増強・会員維持を考える」との演題でご講演いただきました。その後、地区会員増強委員会カウンセラー西村栄時パストガバナーをモデレーター、女性会員5名をパネリストとして、パネルディスカッションを行いました。ご講演いただいた大谷直前ガバナーにもアドバイザー役として参加いただきました。パネリストは、下関中央RC秋成宇多子会長、山口南RC堀本紀代会長、広島阿佐RC佐藤恭子会員、広島東南RC佐野庸子会員、尾道RC山内奈保子会員の方々でした。活発なディスカッションを終え、まとめとして大谷直前ガバナーから、この地区の会員増強は可能である、会員数の増加を楽しみにしている旨の発言をいただきました。最後に中島地区会員増強委員長からの「99名の純増を目指しましょう」との発言を締め言葉として第1部門は終了しました。

ロータリー財団部門では、ロータリー財団学友帰国報告として、「グローバル補助金奨学生として」の演題で、石川祐実さんにお話をいただきました。その後、「地区ロータリー財団現況報告」、「徳山東RCグローバル補助金報告」、「グローバル補助金について」、「地区補助金について」、「奨学金について」、それぞれ担当者から説明がありました。

10分の休憩後、15:10より合同本会議に移りました。平成30年7月豪雨災害の犠牲となられた方々に対し黙祷を捧げた後、基調講演として第3ゾーン エンド ポリオナウ コーディネーター 松本祐二様より、「ポリオ根絶への道 これまでとこれから」の演題で、ポリオ根絶についてとても詳しくかつわかりやすいご講演をいただきました。

その後、金子信パストガバナーから米山梅吉記念館への寄付の依頼がありました。

最後に金子地区研修リーダーのまとめ、吉原ガバナーの謝辞にて閉会となりました。

閉会後は会場を移動してのビアパーティーにてセミナーの疲れを癒し、和やかに親睦を深めながら、皆で本日の感想を語り合い、最後のセミナーを有終の美で飾ることができました。



地区指導者育成セミナー 会員増強部門報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 地区会員増強委員長 中島 秀晴

国際ロータリー第2710地区 2018-19年度、地区指導者育成セミナー 会員増強部門が、8月26日(日)ホテルグランヴィア広島にて、講演とパネルディスカッションの2部構成とし、女性会員・若い会員の増強をテーマに開催されました。

前半の講演では、国際ロータリー第2780地区直前ガバナー大谷新一郎様をお迎えして「会員増強・会員維持を考える」を演題に講演を拝聴しました。1905年にロータリークラブが創立され、ロータリーが世界に拡大していく変遷を学び、個性あるクラブ作りのキーワードとして、ロータリーの理念、目的を理解し、規則を守ることを前提とした“多様性”(DIVERCITY)が必要であるという事。また1989年の規定

審議会で、国際ロータリー定款、標準ロータリークラブ定款が変更され、女性会員の入会が認められ、現在では世界のロータリアンの21%が女性会員である事。そして会員増強が最大のクラブ活性化であり、女性会員と若い会員を軸に会員増強をする為に、「2780地区の女性会員率を日本一にしよう」というわかり易い目標を掲げて増強運動をされたお話などを拝聴しました。

次に後半のパネルディスカッションでは、地区会員増強委員会カウンセラー西村栄時パストガバナーにモデレーターを、パネリストには下関中央RC会長の秋成宇多子様、山口南RC会長の堀本紀代様、広島安佐RC初代会長の佐藤恭子様、



2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

地区内で女性会員が一番多い広島東南RCの佐野庸子様、そして吉原ガバナー輩出クラブ尾道RCの山内奈保子様にお願ひしました。それぞれの立場から女性会員増強に向けての想いをお話頂きました。事前のミーティングではパネリスト5名が全て女性会員という事もあり、ずいぶんと盛り上がりましたが、本番では時間の制限もあり、まだまだ発表されたい事があったと思います。パネルディスカッションの中で、現在も女性ロータリアンの集い世話人をされている佐藤様より、西村カウンセラーがガバナーを務められた2001-02年の3月に岩国国際観光ホテルにおいて、第2710地区初めて

の“女性ロータリアンの集い”が開催され、また10月の地区大会ではシンポジウム「女性ロータリアン大いに語る」が開催され、会場が大いに沸いたとのご紹介もありました。

そして最後に、ご講演を頂いた直前ガバナー大谷新一郎様に講評を頂き終了致しました。

さて、第2710地区の会員数は20年前1998年のピーク時から約1,000名の減少となっております。会員減少に対する危機感を各クラブ全員で共有し、「会員増強とは理論ではなく実践である。」を合言葉に、73クラブ力を合わせて会員増強に邁進していきたいと思ひます。



地区指導者育成セミナー ロータリー財団部門報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員 藤本 政昭

ロータリー財団部門分科会の開会にあたり伊賀委員長より、ロータリー財団の基本方針と各補助金と奨学金などのルールや金額などの変更点について勉強して帰って頂きたいと挨拶をされました。

本年度の分科会の内容は、ロータリー財団学友の報告とグローバル補助金と地区補助金の変更点、ロータリー財団奨学生の奨学金の変更と申請方法の変更点を中心に行いました。最初に学友報告として2016-17年度グローバル補助金奨学生の西山秀平さん（広島東南RC推薦・オランダライデン大学）に現況報告を行って頂きました。続いて2016-17年度グローバル補助金奨学生の石川祐実さん（徳山RC推薦・キングスカレッジロンドン）より約30分間留学時代の勉強内容とエピソードをユーモアを交えてご報告頂きました。またこれからの活動予定などの現況報告をして頂きました。

続いて地区ロータリー財団の現況報告を三宅委員より頂きました。

そして、グローバル補助金の申請について徳山東RC加茂孝様から苦労した点や申請のポイントについて説明をして頂きました。またグローバル補助金の活用促進と変更点について山本委員から説明を行いました。

地区補助金については、森本委員より活用促進と変更点について説明を頂きました。そして奨学金について三吉委員より本年度から変更になった奨学金の金額と申請方法などの説明などを行いました。

最後に松本カウンセラーと田村カウンセラーより、刻々と変わりゆく財団のルールや変更点について最新情報を共有して今後とも補助金の申請を活性化させてDDF・WFの活用促進をお願いしたいと講評を頂きました。

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区

地区大会in尾道

2018.10.19[金] 20[土] 21[日]

～輝こう ロータリーふたび～

国際ロータリー第2710地区 吉原 久司 ホストクラブ 尾道ロータリークラブ

地区大会事務局：〒722-0035 尾道市土堂2丁目7-11 広島銀行尾道支店2階 TEL:0848-25-5378

1日目 10月19日[金] 記念ゴルフ大会【尾道うすしおカントリー倶楽部】

2日目 10月20日[土] 大会諸委員会/会長幹事会/基調講演/
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会/日韓交流パーティ【尾道国際ホテル】

3日目 10月21日[日] 本会議/記念講演会：阿川佐和子氏/大懇親会【びんご運動公園】



贈品「アンデックス
スポーツサイクル」



Rotary
District 2710



阿川佐和子氏

撮影：榎木 功



国際ロータリー第2710地区 2018-19年度会員増減・出席率(2018年8月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初 7/1	当月		本年度		
				末日	内女性	入会	退会	
1	長門	94.79	22	25	4	3	0	0
	下関	76.42	44	46	1	2	0	0
	下関中央	77.11	34	34	6	0	0	0
	下関東	78.74	56	57	3	1	0	0
	下関北	87.25	43	43	0	0	0	0
	下関西	81.21	33	36	1	4	1	0
	計	82.59	232	241	15	10	1	
2	萩	96.47	54	54	0	0	0	0
	萩東	100.00	24	24	1	0	0	0
	美祢	80.60	22	24	1	2	0	0
	小野田	90.43	35	35	3	0	0	0
	宇部	90.27	46	46	3	0	0	0
	宇部東	69.79	13	13	2	0	0	0
	宇部西	89.92	51	51	3	0	0	0
	計	88.21	245	247	13	2	0	
3	防府	89.62	59	63	2	4	0	0
	防府北	92.39	19	22	1	3	0	0
	防府南	94.26	34	37	6	3	0	0
	山口	90.10	46	48	4	2	0	0
	山口県央	87.32	29	30	1	1	0	0
	山口南	91.06	41	41	5	1	1	0
	計	90.79	228	241	19	14	1	
4	光	93.31	53	54	0	1	0	0
	周南西	89.38	54	54	4	0	0	0
	徳山	95.24	44	48	1	4	0	0
	徳山セントラル	87.71	24	25	0	1	0	0
	徳山東	93.88	50	50	0	0	0	0
	計	91.90	225	231	5	6	0	0

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初 7/1	当月		本年度		
				末日	内女性	入会	退会	
5	岩国	79.05	61	64	0	3	0	0
	岩国中央	90.99	40	41	3	2	1	0
	岩国西	85.09	61	62	4	1	0	0
	柳井	100.00	28	31	3	3	0	0
	柳井西	98.74	25	26	3	1	0	0
	計	90.77	215	224	13	10	1	
6	広島	99.71	117	124	1	7	0	0
	広島安芸	96.48	41	41	3	0	0	0
	広島安佐	94.51	21	22	2	1	0	0
	広島東	100.00	110	113	8	4	1	0
	広島北	100.00	96	97	0	1	0	0
	広島陵北	98.51	52	52	2	0	0	0
	大竹	81.85	32	33	0	1	0	0
	計	95.87	469	482	16	14	1	
7	広島中央	100.00	77	78	6	1	0	0
	広島廿日市	92.99	35	36	3	1	0	0
	広島城南	99.32	45	45	3	0	0	0
	広島南	100.00	83	87	0	5	1	0
	広島東南	100.00	99	97	12	4	6	0
	広島西南	99.72	66	67	4	2	1	0
	広島西	100.00	83	84	2	1	0	0
	計	98.86	488	494	30	14	8	
8	江田島	90.69	18	18	0	0	0	0
	東広島	96.97	33	33	2	0	0	0
	東広島21	81.25	16	16	4	0	0	0
	呉	93.36	67	67	0	0	0	0
	呉東	89.48	36	37	1	2	1	0
	呉南	91.00	61	61	3	0	0	0
	西条	100.00	37	38	3	1	0	0
	計	91.82	268	270	13	3	1	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					
			年度初 7/1	当月		本年度		
				末日	内女性	入会	退会	
9	広島空港	79.23	27	27	3	0	0	0
	因島	92.65	20	20	0	0	0	0
	三原	90.81	58	58	0	0	0	0
	尾道	80.44	82	83	2	1	0	0
	尾道東	89.72	52	53	4	1	0	0
	瀬戸田	80.00	5	5	1	0	0	0
	竹原	84.14	32	32	4	1	1	0
	計	85.28	276	278	14	3	1	
10	府中	100.00	26	27	1	1	0	0
	福山	97.70	81	83	0	2	0	0
	福山東	89.55	48	49	2	1	0	0
	福山丸之内	99.52	30	30	1	0	0	0
	鞆の浦	85.00	24	24	0	0	0	0
	福山REC2710*	100.00	19	19	3	0	0	0
	計	95.30	228	232	7	4	0	
11	福山赤坂	81.21	52	54	7	2	0	0
	福山北	93.51	38	41	0	3	0	0
	福山南	83.93	57	57	2	0	0	0
	福山西	98.58	41	41	4	0	0	0
	松永	89.79	53	53	3	0	0	0
	計	89.40	241	246	16	5	0	
12	吉舎	95.00	15	15	0	0	0	0
	三次	81.32	41	42	0	1	0	0
	三次中央	98.73	41	41	5	0	0	0
	庄原	88.17	33	33	4	0	0	0
	東城	88.97	17	17	1	0	0	0
	計	90.44	147	148	10	1	0	
	第2710地区計	90.64	3262	3334	171	86	14	

※正式名称「福山ロータリー E クラブ 2710」

特別コラム

いまに伝わる勝海舟のお行儀

ガバナー月信編集委員 二宮 仁

NHK大河ドラマ「西郷どん」はいよいよ明治維新の荒波に突入しています。西郷隆盛は薩摩藩ですが、明治維新と言えば長州藩の活躍を抜きには語れません。吉田松陰の薫陶を受けた人たちが世界情勢をにらみながら新しい時代へ怒涛の下をくぐり抜けていきました。

維新の三傑は薩摩の西郷、大久保利通と長州の桂小五郎(木戸孝允)。桂小五郎が西郷どんと出会い議論を戦わせながら新しい時代を生み出す物語は感動的です。新しい時代は常に当時の常識を覆す変革をとまってきました。松陰が塾頭を務めた松下村塾で武士に限らず誰もが学ぶことができたように、土農工商の壁を取っ払い職業の平等を広げる、そんな戦いも維新の変革にはあったのではないのでしょうか。職業奉仕を旨とする日本のロータリアンもその恩恵を受けているといえるかもしれません。

そんな維新の志士たちを生んだ松下村塾には初代総理大臣となった伊藤博文もいました。余談ですが、ふぐ料理の解禁に尽力したことで山口県では有名だ

そうです。その伊藤が初代総理大臣となった明治18年に尾道では医者^{どいしやく}の土居咲吾が亡くなっています。

土居咲吾は1860(万延元)年、勝海舟、福沢諭吉とともに咸臨丸に乗ってアメリカに渡った人で、明治となってからは尾道で英語塾を開き、父の跡を継いで医業を営み、明治6年8月に開院し尾道市民病院の前身となった尾道病院衛生館創設にも加わった人です。またまた余談ですが、恐らく渡米経験者が開いた英語の私塾は日本で初めてだったのではないのでしょうか。そんな土居の自宅には咸臨丸の付き合いからか勝も伊藤も尾道に立ち寄った際には訪ねて来たそうです。土居家には、勝が足の指で襖を閉める行儀の悪さに驚いたという家伝が残っています。

西郷と談判して江戸城の無血開城をまとめた勝海舟ですが、どんなに時代が変わっても行儀の悪さが人の印象を悪くすることには変わりはないようです。ロータリアンとして日頃の行動にこそ倫理を持っていきたいものですね。



2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

新会員紹介

 植田 太郎 下関中央RC 2018年2月23日 鉄鋼工業	 中村 昇 下関西RC 2018年8月22日 サイン製作業	 磯本 眞 下関西RC 2018年8月22日 中小企業診断士	 国府田 明 下関西RC 2018年8月29日 証券業	 今田 千恵美 美祿RC 2018年8月7日 老人介護施設	 窪川 昌平 山口RC 2018年8月8日 全国放送	 尼田 剛 山口RC 2018年8月29日 商業銀行	 徳田 晴宣 徳山RC 2018年8月9日 化学製品製造	 山村 隆章 広島RC 2018年8月7日 電気器具配布
 森田 茂 広島東RC 2018年8月1日 ホテル	 大矢 武二 広島東RC 2018年8月1日 電気器具製造	 宝迫 信義 広島東南RC 2018年8月6日 情報通信サービス事業	 安東 則好 広島東南RC 2018年8月20日 総合建設業	 影久 知也 広島西南RC 2018年8月28日 人材派遣業	 藤田 進 広島西南RC 2018年8月28日 司法書士	 上野 彰彦 広島西RC 2018年9月6日 美容院	 安原 稔 三原RC 2018年9月4日 信用金庫	

文庫 通信

372号

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫

検索

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■最近の資料より

「ロータリーの扉を開く言葉」	服部 芳樹	2018	11p
「ロータリー語ときあかし辞典」	服部 芳樹・北川 宥智	2018	43p
「日本のロータリーの伝統を守るクラブ細則」	服部 芳樹	2018	12p
「職業奉仕委員会報告書-永続・発展の職業奉仕とは！」		[2018]	28p D.2530
「『内向き』と『外向き』わかりやすい職業奉仕」		2018	43p D.2780
「プロフェッションの職業奉仕」(凡太の奉仕経営物語)	高良 明	2018	5p
「ヘルスイ ライフロータリアンの願い」	小林 博	[2018]	17p
〔上記申込先:ロータリー文庫〕			
「ロータリーの心と原点(改訂第8版)」	廣畑 富雄	2018	171p
〔申込先:(株)エムケイスペース FAX(092)737-9557〕			
「ロータリー財団ハンドブック」		2018	123p D.2750
〔申込先:D.2750 FAX(03)5472-2750〕			
「初期ロータリーを顧みて」	鈴木 宏監修	2014	106p
〔申込先:鈴木宏 FAX(028)660-2224〕			

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL:(03)3433-6456 FAX:(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館:午前10時~午後5時 休館:土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:<http://ri2710.com/>